事業評価調書

◎基本情報

年度			令和3年		会計コート	ì	10		一般		事	業コード	•	381	24	
事業名			スポーツ普及振興費													
評価担当課			所属名 ス)スポーツ部 企画事業課													
			i	課長名	深	井 貴広 担当者名			宮本	亮	電話番号 011-211-3044					
施策名			_													
他東名 副																
アクションプラン		O \$	対象	•	対象外			戦略	ビジョン ● 対	象	〇対	象外				
事業の性質		● #	経常経費	0	臨時的経費											
		O F	内部管理	0	法定経費	(〇 指定管	理								
	実施	形態		直営		一部委託		〇 全部勃		〇 補助即		● そ				
			_	施設の活用に	よる	スポーツの場	の確	保や、次	世代を	を担う子どもたち	にスポ	ーツの	魅力を	発信し初	器野拡	大を図
		短期	ం .													
	目的															
	נאם		スポー	−ツ普及・振興	を行	うことで、スオ	ポーツ	/実施率、	ウイン	ノタースポーツ될	€施率σ)向上	を図る。			
		長期														
+																
事業	取組内容									を問わず、一年						
内			スポーツ実施意欲の向上を図る。また、永年にわたり、スポーツ振興に貢献してきた個人・団体を表彰する。 【概要】													
容				-	事	業、市民スポ-	ーツ賞	食、スノー	ホッケ	一会場整備 等	Ē					
				八田古士古山	- /-	· 上 代山口	<u>.</u>	1011								
	実施結果					くキー貸出人勢 人3団体に授		,134人								
				特別表彰 5			,									
1	# 	4.117	札.幌市	スポーツ協会	会や	競技団体と連	携し	、広く事業	の活	用を促し、広報	を実施す	するとと	ヒもに、B	見られた	予算	のなか
事業実施における 工夫点			札幌市スポーツ協会や競技団体と連携し、広く事業の活用を促し、広報を実施するとともに、限られた予算のなかで効果的なスポーツの普及・振興事業を展開していくよう工夫を行っている。													
対象者			市民全	<u>-</u> 船							開始	0	年度	終了	0	年度
関連法令・条例・要綱等				- <i>**</i> ^ -ツ基本法							17/37/4		1/2	17. 3		- 1/2
他都市の状況																

◎事業費 (単位:千円)

		令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算					
事	業費	9,785	12,000	10,621	13,400					
うち特	定財源	0	150	148	150					
人	. 工	1.0	0.5	0.5	0.5					
人任	牛費	7,200	3,600	3,600	3,600					
計(事業費	+人件費)	16,985	15,600	14,221	17,000					
事業費	令和3年度決算	決算10,769千円 <内訳> 歩くスキー普及振興事業 中島公園、白旗山コースの維持管理費用 9,070千円 市民スポーツ賞 459千円、スノーホッケー会場整備費 0千円、その他 1,240千円								
の内訳	令和4年度予算	予算13,400千円 <内訳> 歩くスキー普及振興事業 中島公園、白旗山コースの維持管理費用 10,325千円 市民スポーツ賞 755千円、スノーホッケー会場整備費 650千円、その他 1,670千円								

◎検証(振り返り)

	<u> </u>												
活動指標1			指標名 スポーツ実施率(20歳以上・週1回以上)										
			令和2年度	生実績	令和	口3年度予定	令和:	3年度実績	令和4	年度予定			
		ļ	54.90%			65.00%	į	57.70% 65.00%					
			指標名	ウインター	-スポーツ	ノ実施率(18	歳~49歳・年1	回以上)					
	活動指標2		令和2年度実績		令乖	口3年度予定	令和	3年度実績	令和4	令和4年度予定			
		ļ	20.50%			25.00%		19.50%	2	5.00%			
			指標名		<u> </u>			L					
	成果指標1	ļ	令和2年度	 安宝結	☆≉	口3年度目標		 3年度実績	──	 和4年度目標			
	WW10 W	ļ	131H- 1 /2		14.51		H TE	一人人	19 TH ·	十尺口际			
			指標名		<u> </u>								
	成果指標2	,		主要结		3年度目標	△和	3年度実績 令和4年度目標					
	八木田保4		令和2年度実績		파세	い十尺日保	77 ሰሀላ	3千及天根	77 114	7144千尺口标			
+3		alui 📥					TB ±						
埩	目	判定	O# (2+ :	<u>₩ 17.4E 80 7</u>	- **		理由						
事業の成果 (目的をどの程度 達成できたか)			○歩くスキー普及振興事業 ・R3年度は4,134人の利用があり、市民が気軽にウインタースポーツを楽しむ機会となっており、ウインタースポーツ実施率の向上に寄与している。 ※その他の事業については経常的経費であるため省略。以下同じ。										
事業規模 (事業ポリューム は適切か)		A	規模は適切で	内2ヶ所でī であると考え	市民が手 える。	軽にウインタ	≀ —スポーツを	・楽しめる環境で	づくりを行っ	ており、事業			
事業の実施手法 (事業の効率性、 実施主体は適切か)		А	スポーツ協会 実施方法や実	スの発着場 に業務委割 実施主体は	に隣接す 託すること 適切であ	とで、随時コー	一スの安全管	旗山競技場を打 理や巡回を行 [.]					
対象者の満足度 (対象者のニーズ に応えているか)				に楽しみた	い方は中			F感じ体力や競 に応えている。		こに努めたい			
市民参	加の実施	口 企画		施 □	評価	■ 対象外	市民参加結果	への対応 🗌 回	 答	□ 反映			
-		なし		<u></u>									
今後の改善点													
前回(の評価	• A	ОВ	0	С	〇 評価省	ョ略対象事業	前年度実施な	îL				
今年度取り組んだ 見直し内容		なし						見直し効果額 (前年度)		0 千円			
今回の評価		A	ОВ	0				・前年度実施な	_				
評価の理由			は評価できる。				と変わらず外で	で運動する機会	きを一定数の	の市民に提供			
		● 改善		状維持	〇 休止								
次年度の 取組の 方向性・	事業 内容		ニーズを汲み取										
改善内容		● 拡充		状維持	O 縮小		<u>の他</u>						
	- 予算 	利用者二− 	ーズを反映した	∄業内容	を検討す	ঠ 。		見直し効果額		0 千円			